



Postgres Enterprise Manager -Trouble Shooting Guide

リリース *8.5.0*

EDB

2022 年 07 月 15 日

目次

第 1 章	Troubleshooting agent issues	3
1.1	削除された PEM エージェントの復元	3
1.2	コマンドラインを使用して、ステータスがダウンまたは不明な PEM エージェントを削除する	3
第 2 章	Troubleshooting server installation	5
2.1	サーバーインストールエラー	5
2.2	PEM サーバーの再構成	5

Postgres Enterprise Manager (PEM) トラブルシューティングガイドへようこそ。このガイドでは、PEM サーバーとエージェントのトラブルシューティングを行う方法について説明します。PEM は、EDB Postgres Advanced Server または PostgreSQL データベースの管理および分析機能を提供するコンポーネントで構成されています。PEM は、オープンソースの pgAdmin 4 プロジェクトに基づいています。PEM は、包括的なデータベース設計および管理システムです。PEM は、初心者と経験豊富な Postgres ユーザーの両方のニーズを満たすように設計されており、データベースオブジェクトの作成、メンテナンス、使用を簡素化する強力なグラフィカルインターフェイスを提供します。

第1章 Troubleshooting agent issues

1.1 削除された PEM エージェントの復元

`pem.agent` テーブルからエージェントが削除されている場合、復元することはできません。エージェントを再登録するには、`pemworker` ユーティリティを使用する必要があります。

エージェントが PEM Web クライアントから削除されたが、値が `pem.agent` テーブルにまだある場合は、次の手順を使用してエージェントを復元できます。

1. 次のコマンドを使用して、`id` および `active` フィールドの値を確認します。

```
pem=# SELECT * FROM pem.agent;
```

2. エージェントのステータスを `pem.agent` テーブルで `true` に更新します。

```
pem=# UPDATE pem.agent SET active=true WHERE id=<x>;
```

`x` は、手順 1 で使用したクエリの出力に表示された識別子です。

3. PEM Web クライアントを更新します。

削除されたエージェントは再び復元されます。ただし、その特定のエージェントにバインドされたサーバーはダウンしているように見える場合があります。この問題を解決するには、サーバーの PEM エージェントプロパティを変更して、バインドされたエージェントを再度追加する必要があります。変更が成功すると、サーバーは正常に実行されていると表示されます。

1.2 コマンドラインを使用して、ステータスがダウンまたは不明な PEM エージェントを削除する

Down または Unknown ステータスの PEM エージェントの数が多い場合、PEM Web インタフェースを使用して削除することが難しい場合があります。このような状況では、コマンドラインインターフェイスを使用して、Down または Unknown エージェントを削除することができます。

1. 次のクエリを使用して、`N` 時間以上 Down であるエージェントを削除します。

```
UPDATE pem.agent SET active=false WHERE id IN
(SELECT a.id FROM pem.agent
a JOIN pem.agent_heartbeat b ON (b.agent_id=a.id)
WHERE a.id IN
(SELECT agent_id FROM pem.agent_heartbeat WHERE (EXTRACT (HOUR FROM now()))-
EXTRACT (HOUR FROM last_heartbeat)) > <N> ));
```

2. 次のクエリを使用して、ステータスが `Unknown` のエージェントを削除します。

```
UPDATE pem.agent SET active=false WHERE id IN  
(SELECT id FROM pem.agent WHERE id NOT IN  
(SELECT agent_id FROM pem.agent_heartbeat));
```

第2章 Troubleshooting server installation

2.1 サーバーインストールエラー

RHEL 8 に PEM サーバーをインストールしているときに、次のエラーが発生した場合：

```
[root@etpgxlt firstuser]# dnf install edb-pem
Updating Subscription Management repositories.
Last metadata expiration check: 0:01:33 ago on Wed 30 Mar 2022 01:28:16 AM EDT.
Error:
  Problem: problem with installed package python3-mod_wsgi-4.6.4-4.el8.s390x
    - package python39-mod_wsgi-4.7.1-4.module+el8.4.0+9822+20bf1249.s390x conflicts
    ↪with python3-mod_wsgi provided by python3-mod_wsgi-4.6.4-4.el8.s390x
    - package python39-mod_wsgi-4.7.1-4.module+el8.4.0+9822+20bf1249.s390x conflicts
    ↪with python3-mod_wsgi provided by python3-mod_wsgi-4.6.4-3.el8.s390x
    - package edb-pem-server-8.4.0-7.rhel8.s390x requires python39-mod_wsgi >= 4.7, but
    ↪none of the providers can be installed
    - package edb-pem-8.4.0-7.rhel8.s390x requires edb-pem-server = 8.4.0-7.rhel8, but
    ↪none of the providers can be installed
    - cannot install the best candidate for the job
  (try to add --allowerasing to command line to replace conflicting packages or --skip-
  ↪broken to skip uninstallable packages or --nobest to use not only best candidate
  ↪packages)
[root@etpgxlt firstuser]#
```

最初に `python3-mod_wsgi` パッケージを削除します。

```
dnf remove python3-mod_wsgi
```

次に、PEM サーバーを再度インストールしてみてください。

2.2 PEM サーバーの再構成

場合によっては、PEM サーバーをアンインストールし、再度インストールしてから、サーバーを再構成する必要があります。次のコマンドを指定された順序で使します。

1. 次のコマンドを使用して、PEM サーバー構成を削除してアンインストールします。

```
/usr/edb/pem/bin/configure-pem-server.sh -un
```

2. 次のコマンドを使用して、PEM パッケージを削除します。

```
yum erase edb-pem-server
```

3. 次のコマンドを使用して、pem データベースを削除します。

```
DROP DATABASE pem
```

4. 証明書を/root/.pem/ から別の場所に移動します。

```
mv /root/.pem/* <new_location>
```

5. agent.cfg ファイルを/usr/edb/pem/agent/etc/agent.cfg から別の場所に移動します。

```
mv /usr/edb/pem/agent/etc/agent.cfg <new_location>
```

6. 次に、次のコマンドを使用して PEM サーバーを再度構成します。

```
/usr/edb/pem/bin/configure-pem-server.sh
```